

～子どもの心を健康に育てるために～

大学生の息子が「家族全員を殺す」と、祖母・母親・弟・伯母をボーガンで殺傷する事件がありました。どうしてこんな悲しい事件が起きるのでしょうか。

コンサルジュという相談業務の中でいろいろ考えさせられる場面も多くあります。医学博士平井信義先生の著書によりますと、様々な思春期の問題は乳幼児からスタートしているそうです。

子どもの目、輝いていますか・・・自主性を育てる

★自発性の乏しさが不登校を生む

- ・いたずらが自発性を発達させる
- ・自発性を発達させる「無言の行」のすすめ

自由＝放任ではありません！

- ・けんかは心の栄養素
きょうだいげんかは裁かない
- ・おどけ・ふざけはユーモアの始まり
おかあさん、楽しんで！

良い子の鑄型にはめ込まないで



「心の基地」ができていますか・・・「思いやり」を育てる

★親の「思いやり」が子どもの「思いやり」を育てる

- ・完全主義のおかあさんにご用心！
- ・子どもをゆがめる「厳しいしつけ」
- ・子どもにおかあさんの暖かいイメージを
- ・非行を防ぐにはおとうさんがカギ?!

子どもの心に「意欲」と「思いやり」を育てよう

植木に水をやり過ぎても、やらなくても枯れてしまいますね。時々には栄養も光も必要です。子育ても同じで過保護でも無関心でもいけません。愛情をかけるからこそ、この子の為になることを考えて子育てをしていかなければいけませんね。

上記水色部分の文章は
小児医学・児童精神医学博士
平井信義 著

- ・「心の基地」はおかあさん
- ・気になる子どもたち

より引用

あまり難しく考えず、大人が「思いやり」を持って人に接する事。そして子ども達が伸び伸び、思うように生きていけるように手助けしていく事(甘えと我儘は見極めて)を肝に銘じて・・・。

もちろん無償の愛でわが子を包んであげることも忘れずに・・・。

